

(No.1)

履 歴 書

西暦××××年×月×日現在

フリガナ	ニッタイ タロウ	
氏 名	日体 太郎 (ローマ字: Nittai Taro)	
生年月日	1995 年 10 月 10 日生 (満 24 歳)	☒ 男 ・ 女
現住所 (連絡先)	〒227-0033 神奈川県横浜市青葉区鴨志田町 12XX-X (TEL) 045-962-XXXX (携帯電話) 090-1234-56XX (メールアドレス) XXXX@XXXX	
年 (西暦)	月	学歴・研究歴 (高等学校以降、学部・学科・研究科名まで記入)
2011	4	〇〇県立〇〇高等学校 入学
2014	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
2014	4	日本体育大学 体育学部 体育学科 入学
2018	3	日本体育大学 体育学部 体育学科 卒業
2018	4	日本体育大学大学院 体育科学研究科 体育科学専攻 博士前期課程 入学
2020	3	日本体育大学大学院 体育科学研究科 体育科学専攻 博士前期課程 修了
		以 上
年 (西暦)	月	職 歴
		なし
		以 上
		ない場合、空欄とせず「なし」と記載してください。

写真貼付
(3×4cm)
※スーツ着用の
こと

(No.2)

(氏名 日体 太郎)

学 位		学士 (体育学)	取得大学：日本体育大学 取得年月：2018 年 3 月
		修士 (体育科学)	取得大学：日本体育大学 取得年月：2020 年 3 月
		博士 ()	取得大学： 取得年月：
年 (西暦)	月	免許・資格	
2015	6	普通自動車運転免許	
2020	3	中学校教諭専修免許状(保健体育) 取得見込み	
2020	3	高等学校教諭専修免許状(保健体育) 取得見込み	
		以 上	
年 (西暦)	月	学会及び社会における活動等	
2018	7	日本体育学会(現在に至る)	
		以 上	
年 (西暦)	月	賞 罰	
		なし	
		以 上	
志望理由		志望理由を記載してください。	

【教育研究業績書記載上の注意】

〔教育上の能力に関する事項〕

1 教育方法の実践例

- ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容の web 上での公開等

2 作成した教科書、教材

- ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要(後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表示)

3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価

- ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容)
- ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
- ・学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- ・学外の評価機関等が行った評価
- ・上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価(客観性を持ったものについて記載)等

4 実務家教員についての特記事項

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等)
- ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載してください。

5 その他

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・教育実績に対する受賞歴等
- ・国家試験問題の作成等

※上記にとらわれず、積極的に記載してください。

〔職務上の実績に関する事項〕

1 資格、免許

資格について、担当する教育の内容に関するものなど、特に審査に関連すると思われるものについて記載してください。

2 特許等

本人の担当する教育内容等に関連した事項について記載してください。

3 実務家教員についての特記事項

実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の事項等を参考に記載してください。

- ①従事した期間
- ②職務の内容(どのような職務について、どのような役割を果たしたか)
- ③成果、結果

＊スポーツ等実技関係者の場合 職務上の実績:指導者としての経歴・実績・資格等

＊福祉その他社会的活動の関係者の場合 参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位

＊その他全般を通じて

4 その他

1 から 3 に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

〔担当授業科目等に関する主要な著書、学術論文等〕

1 著書、学術論文等の名称

- ・「著書」、「学術論文」及び「その他」の順に適切に区分し、各業績を年々日順に区分毎に番号を付して記載してください。
- ・「学術論文」は、国際学会雑誌、学会機関誌、研究報告等に学術論文として発表したものを記載してください。
学位論文(修士論文、博士論文)も記載し、修士論文または博士論文である旨を明記してください。
また、学術論文については、各題名の後に、「(査読付)」または「(査読なし)」、原著論文の場合は、「(原著)」と必ず明記してください。
- ・「その他」には、総説、学会抄録、報告発表、座談会等について記載し、タイトル・テーマ等を記載してください。

2 単著、共著の別

3 発行又は発表の年月

4 発行所、発表雑誌等又は発表学会の名称

5 概要

- ・著書、学術論文等の概要及び頁数について、各著書、学術論文等ごとに 200 字程度で記載してください。
- ・共著の場合は、担当部分及び掲載頁を明記し、また、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順に記載し、本人の氏名にアンダーラインをしてください。なお、共著の場合で本人の担当部分を明確にできないときは、その理由を明記してください。(例:共同研究につき本人担当部分抽出不可能)また、筆頭論文である場合は、その旨明記してください。
- ・一冊の本を数人で執筆した場合、当該部分は単著であっても共著と整理してください。
- ・学位論文については、その旨明確になるように記載してください。
- ・発表学会誌等は、その名称の他、巻・号等まで記載してください。
- ・著書、学術論文等で発行又は学会誌等での発表予定のものについては、出版社や学会からのその旨の証明書を添付してください。なお、書類提出時以降に投稿予定のものは含めないでください。

〔その他〕

<外部資金の獲得状況>

- ・科学研究費、その他の公的外部資金、各種財団等からの外部資金等について記載してください。

<競技歴・指導実績等> ※特に実技系の研究室の申請者は必ず記載してください。

自身の競技歴

クラブ等の指導実績

講習会等の指導実績

教育研究業績書				
記入例				
XXXX 年 X 月 XX 日				
氏名 日体 太郎 ㊟				
教育上の能力に関する事項		年月日	概 要	
1 教育方法の実践例				
2 作成した教科書、教材				
3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価				
4 実務家教員についての特記事項				
5 その他				
職務上の実績に関する事項		年月日	概 要	
1 資格、免許				
2 特許等				
3 実務家教員についての特記事項				
4 その他				
著書、学術論文等の名称	単著、 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書) 1.〇〇〇〇	共	2013.7	△△△	。 執筆箇所:「△△△△」p.69、「▽▽▽」p.106、 「□□□□」p.147、「◇◇◇」p.195、「☆☆☆」 p.200～p.201、「◎◎◎」p.326～p.354 共著者: 日本〇〇〇編 日体太郎、〇〇〇〇他 88 名
2.〇〇〇	共	2015.10	△△書店	「第 II 部 12. □□□□□の△△△」を担 当、.....。 執筆箇所:p.172～p.175 共著者: 日体太郎(編)、日体一郎、日体次郎
3.新版〇〇〇〇〇〇	共	2016.1	△△書店	「△△△」を担当、..... 日体太郎、日体次郎、日体史郎(編) 執筆箇所:p.102～p.157 共著者: 日体次郎、日体太郎、日体史郎
(学術論文) 1.〇〇〇〇〇の形成に関する□□□考察ー 〇〇〇の△△△△が果たした役割ー(査 読あり)(原著)	共	2014.6	体育学研究 59(1)	〇〇県〇〇市に伝わる〇〇〇〇に.....を明らかにしている。 執筆箇所:p.331～p.349 共著者: 日体太郎、日体次郎
2.〇〇〇〇〇の□□□□(査読あり)	単	2015.9	〇〇体育 40(3)	本稿は〇〇〇〇の.....につ いて論じたものである。 執筆箇所:p.18～p.21

(その他)

<外部資金の獲得状況>

2011 年度 文部科学省 科学研究費補助金「〇〇〇〇の研究」基盤研究C (350万円) 研究代表者

2011 年度 〇〇生命厚生事業団研究助成「〇〇〇〇の研究」 (100 万円)

<競技歴・指導実績等>

・自身の競技歴

1.1992 年 第〇回学生〇〇選手権 〇〇競技 3位

2.1993 年 第〇回ユニバーシアード〇〇大会 〇〇競技 出場

3.1995 年 世界〇〇選手権大会 〇〇競技 出場

4.1996 年 第〇回オリンピック競技大会(1996・〇〇大会) 出場

・クラブ等の指導実績

1. 2003.6 第〇回世界選手権大会(△△△) 〇〇競技 □□選手 優勝 ◇◇選手 3 位 監督

2. 2003.10 第〇回全日本学生大会 〇〇競技 □□選手 優勝 監督

・講習会等の指導実績

1. 2003.10 NHK テレビ 〇〇〇の解説 国民体育大会(□□市)

2. 2004.11 〇〇県教育委員会 △△△△講習会